



▶学校紹介動画



▶在校生・PTA・卒業生の方へ



▶お問合せ

福高Information

—福高からのお知らせ・広報

◀前 1 2 3 4 5 6 次▶

カテゴリ選択

50件 ▼

■ 2021/12/15 ■ 高1 献血学習

by 福知山高校管理者

12月9日(木)7限目に京都府赤十字血液センター献血推進課より2名、また福知山市健康医療課より2名の講師をお招きして、1年生対象に献血講演会が実施されました。時に動画を交えながら、献血に関する基礎知識や献血の必要性について、実体験を踏まえながらわかりやすく話していただきました。また、実際に献血をしようとするにあたって、京都における実施場所等についても説明していただきました。生徒にとって献血について改めて考える契機となったと思います。

<生徒感想>

- ・献血ができる年齢は20歳くらいからだと思っていたけど、16歳からと聞いてより身近なものに感じました。
- ・父が献血に行く姿を割とよく見かけていたためか、漠然と血は足りていると思っていたけど、改めて血が非常に不足しているということを知って、自分の認識が変わりました。
- ・献血が足りていないことに驚きました。また、献血に対してほんやりながらネガティブに感じていた部分もあったけど、今回の講演会でより詳しく知ることでの命を助けることができる大切なことだと改めて感じ、自分も将来的に献血をしようと思いました。



09:34

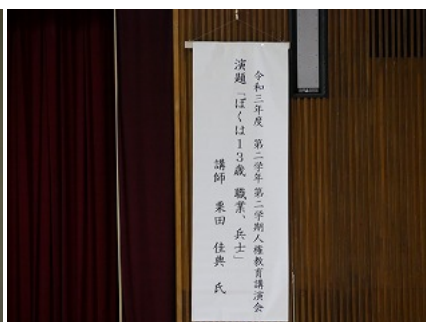
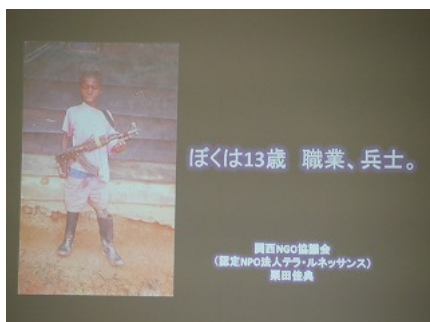
■ 2021/12/15 ■ 第2学年人権教育講演会を実施しました。

by 福知山高校管理者

12月9日(木)、第2学年人権教育講演会を実施しました。講師には、NPO法人関西NGO協議会事務局長 栗田 佳典氏をお招きし、「ぼくは13歳 職業、兵士。」という演題で講演していただきました。講師の豊富な経験を通して、紛争地域に暮らす人々の実態を詳しく知ることができました。その中で、平和な日本に住む私達にできることは何かについて考えるよい機会となりました。

<生徒の感想(抜粋)>

「世界中にいる子ども兵の現状を知り、とてもショックを受けました。」
「世界に対してもっと関心を持つようにしたいです。『知らない』ということは一種の幸せかもしれません。ですが、現実を知らないことは間接的に誰かを見捨てることに繋がるかもしれないと思いました。」
「寄付活動など、できることがあれば参加していきたいです。」





07:26

2021/12/14 ■ 税の作文コンクール 表彰式

[Twitter](#) [Facebook](#) | by 附属中学校

12月14日(火)放課後、税の作文コンクールの表彰式が校内で行われました。
高校1年生から5名の受賞があり、それぞれ賞状と記念品を受け取りました。



14:04

2021/12/13 ■ 第16回エコノミクス甲子園地方大会

[Twitter](#) [Facebook](#) | by 附属中学校

12月12日(日)にエコノミクス甲子園の京都府大会に1年生が出場しました。例年は京都市内で出場者が集まり行われる予選会ですが、今年度は栃木、愛知、富山、福井、京都、奈良、岡山の府県とオンラインによる合同開催となりました。50問の選択問題に答え、最高得点を獲得したチームが来年2月の全国大会の出場権を得ることができます。本校から3組(チーム名「福高ボーイズ」「インテグラル」「微分・積分・いい気分」)の6人が出場しました。予選結果は、「福高ボーイズ」が京都府3位となりました。残念ながら全国大会への出場権を得ることができませんでしたが、自分たちの金融経済知識を試す良い機会となりました。

【生徒の感想】

〇エコノミクス甲子園を通して経済用語や投資について知ることができて、世界が広がりました。ペアでお互いに助け合いながら楽しんで参加できました。



09:35

2021/12/13 ■ 田舎力甲子園 最終審査出場

[Twitter](#) [Facebook](#) | by 附属中学校

12月11日(土)に福知山公立大学2021地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」最終審査会が行われ、2年生の1グループが出場しました。全国各地の73策の応募から11策が最終審査に選ばれました。7分間のプレゼンテーションでは、グループのメンバーが協力して分担し、寸劇を交えて福知山市内のフードロス削減するプロジェクト企画を伝えました。

【生徒感想】

〇実際に地域と連携して計画を進めていくという経験は初めてだったので、思うようにいかないこともあったけれど楽しかったです。SDGsと

いう言葉は最近よく耳にしますが、福知山という身近な場所と結びつけて考えることによってより親近感がわきました。発表も寸劇を入れることで3Fプロジェクト（Fukuchiyama First Foodbank）のことをより理解してもらいやすくなったと思います。
○他校の方のお話を聞いて、各校それぞれが地元を活性化させる取組を丁寧に説明していろいろな発想を聞けて、とても楽しかったです。自分達の発表前日はとても不安だったけどなんとか発表できたので安心しました。



09:21

2021/12/09 ほけんだより（12月号）

by 福知山高校管理者

ほけんだよりを更新しました。



19:02

2021/12/06 芸術鑑賞

by 附属中学校

11月25日（木）に芸術鑑賞を実施しました。今年度の芸術鑑賞は、古典芸能「狂言」（公演団体：三宅狂言会）でした。附属中・分校・本校合同で午前と午後の2部に分かれて本校第1体育館での開催となりました。
分かりやすくかつ面白く狂言の歴史や舞台の仕組みについて解説を聞き、狂言特有の演じ方や所作の体験を通して狂言に触れることができました。最後は、演目「棒縛（ぼうしばり）」を観劇し、会場中が大きな笑いに包まれました。



11:48

■ 2021/12/06 ■ 第3回土曜講座

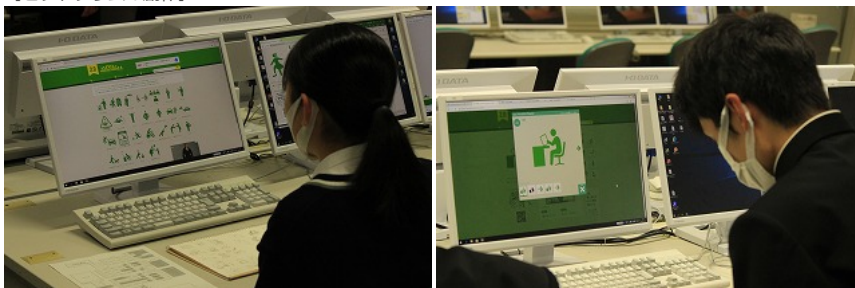
by 附属中学校

11月20日(土)に土曜講座を実施しました。土曜講座は、生徒たちが普段出来ないような経験をしたり、幅広い分野から学びを深めたりする学びの場です。新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきたため、今年度3回目の実施となりました。開講された講座は、世界史講座、地理講座、化学講座の教科の補充強化であったり、みらい学みらい考の取り組みであったり、アロマスプレーづくりやピクトグラムの創作、写真撮影の技術を学ぶ講座など様々でした。200名ほどの生徒が自ら講座を選択し、意欲的に学びました。

【アロマスプレーづくり】



【ピクトグラムの創作】



【写真撮影の技術を学ぶ講座】



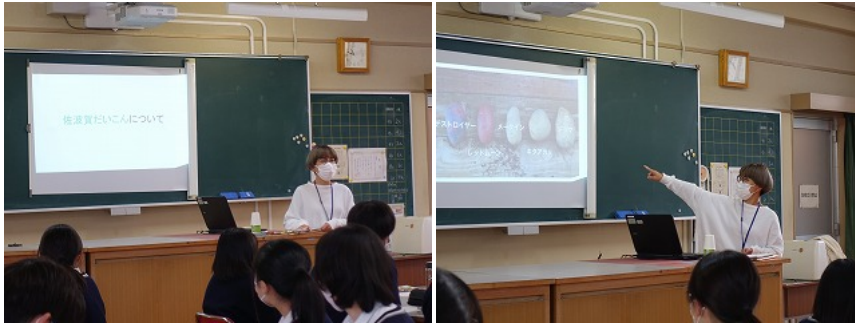
08:56

■ 2021/12/02 ■ 3年生家庭基礎 舞鶴特産京野菜・佐波賀大根について学ぼう

by 附属中学校

11月30日(火)、3年生家庭基礎の授業にきょうと食いく先生の田中まり先生(しましまファーム)をお招きし、「舞鶴特産京野菜 佐波賀大根について学ぼう」というテーマで授業をしていただきました。クラス全員、「佐波賀大根」を食べたことがなく、また、名前を聞くのも初めてでした。お話を聞く中で、100年の歴史を持っているが、今は生産者が4人しかいない幻の大根であること、現在普及している青首大根と比べて栽培に手間がかかること、佐波賀大根は栄養価が高く、葉も含めて様々な調理法で食べられることなど、佐波賀大根の魅力について理解する

ことができました。また、お話を伺うことで、京都の伝統的な野菜を伝承していくために、私たち消費者も意識して京野菜を活用することの重要性にも気づくことができました。まもなく訪れる佐波賀大根の旬の時期が楽しみです。



17:03

■ 2021/12/01 ■ 医学科ガイダンス（医進PG）

| by 福知山高校管理者

11月17日（水）、医学進学プログラムの一環として富士学院による医学科ガイダンスを実施し、医学進学希望の高校1，2年生15名が参加しました。医学部入試の現状、学習方法などについて具体的な講演をしていただきました。参加した生徒にとって「医学部受験は医師の就職試験である」という言葉が印象的だったようです。普段の学校生活を見直し、受験に向かう意識を高める貴重な機会となりました。



09:59

■ 2021/12/01 ■ WWL海外オンラインインターンシップ・台湾片岡股份有限公司

| by 福知山高校管理者

11月24日（水）WWL事業の一環として、株式会社片岡製作所の御支援をいただいて台湾片岡股份有限公司（片岡製作所の台湾事業所）と鳥羽高校と本校をオンラインでつないで交流しました。コロナ禍のため実際に訪台できないのは大変残念でしたが、台湾事業所の仕事に加え、台湾の魅力や現在行われているコロナ対策について、とても丁寧に説明をしていただきました。台湾のことをよく知り、心の距離がぐっと縮まりました。



08:39

■ 2021/11/30 ■ 地域連携プログラム 出前高校生議会

by 附属中学校

11月24日（水）放課後に地域連携プログラムの一環で、出前高校生議会を実施しました。京都府議会議員 6 名をお招きし、「府北部の学生経済支援」「環境都市 K Y O T O の復興」「10 台の投票率減少」の 3 つのテーマで意見交換をしました。自主的に参加を希望した高校生 21 名と中学生 5 名がそれぞれ自分の意見をしっかりと持って交流会に参加したことで、白熱した議論が交わされました。

【生徒の感想】

〇私は、最近政治に関心を持ち始めていて、実際に政治家の方たちと直接意見を交換し合う場に参加できて良かった。

〇議員の方たちと話していく内に、自分の考えを深めることができ、また他の高校生や中学生の考えも知ることができて良かった。



07:39

■ 2021/11/28 ■ 地域連携プログラム 教室のビクトグラム創作

by 附属中学校

11月20日（土）の土曜講座の中で、中学生 5 名、高校生 8 名が参加し、数あるフリー素材の中から自由な発想で組み合わせ、教室や校内施設を表すビクトグラムを創作しました。インターネット上のフリー素材を使って、自由な発想で組み合わせで表現しました。校章を付けることで福知山高校を示すなど、工夫したビクトグラムができあがりました。



【高校生の創作したピクトグラム】どの校内施設を表しているか分かりますか？



08:28

11月13日（土）オンラインで京都府WWL高校生サミットが開催され、本校から4名が日本語の部に、2名が英語の部に参加しました。京都大学総合地球環境学研究所の阿部健一教授による基調講演に続いて、「文化遺産の戦略的活用による活力ある未来社会の創出」「科学技術と自然が調和する豊かな未来社会の創出」「多文化共生による平和で安心な未来社会の創出」をテーマに、グループに分かれて議論し、意見をまとめて発表しました。初めて顔を合わせるグループでの議論でしたが、しばしば笑いもこぼれる和やかな雰囲気の中で活発に意見を交換し、各グループから様々な提案がなされました。また、発表後には、互いのがんばりを称え合い、グループの仲間と別れを惜しむ様子が見られました。

今回得られた知識を生かすとともに、議論をとおして考えを深めることができた経験を糧にして、よりよい未来社会の実現に向けて生徒たちが力を発揮することを期待しています。

【参加生徒の感想（一部抜粋）】

- ・ 沖縄や山形など、普段関わることの出来ないような高校生と沢山話することができ、最後には連絡手段の交換をすることもできて、すごく楽しい時間でした。
- ・ 初めて話す人と発表し合い、課題に対しての考えを一つにまとめていくという過程がとても楽しかったです。
- ・ まったくの見ず知らずの人との英語での討論はとても楽しいものでした。こんな機会はなかなかないと思うのでとてもよい経験になりました。
- ・ 英語を頑張って話す機会ができてよかったです。私に発表者を任せてくれて、大変いい練習になりました。緊張もそんなにしなかったし自信になりました。もっと英語と知識を増やすための勉強をしたいと思います。



18:56

■ 2021/11/19 ■ 福知山西南ロータリークラブ主催「未成年の主張」

| by 福知山高校管理者

10月31日(日)に福知山西南ロータリークラブ主催の「未成年の主張」に本校生徒が出演しました。気持ちが聞き手に伝わる素晴らしいプレゼンであったことが評価され、見事に優秀賞を受賞しました。



18:41

■ 2021/11/19 ■ 医学進学プログラム「先輩に学ぶ」

| by 福知山高校管理者

福知山市民病院から助産師の足立真由さんをお招きして、看護・医療系進学希望者を対象に講演をしていただきました。足立真由さんは本校卒業後、京都府立医科大学に進学され、卒業後現在の職場でご活躍されています。講演では、助産師を目指すようになったきっかけや、高校・大学時代の様子、そして実際に助産師になられてから感じることなど多岐に渡る内容をお話してくださいました。人と接する職業であるため、様々な経験を通じてコミュニケーション能力を培うことの大切さや、体力・精神力の両面におけるタフさが必要であることなど、実際に助産師をされているからこそその実体験に基づく話を聞くことができ、生徒にとって貴重な経験になったと思います。

<生徒感想>

「現場のリアルな状況や実際に働いてみて必要だと感じた力などを聞くことができとてもよかった。」
「自分の気づけていない実情を聞くことができ、看護師という職業についてこれまで以上に知ることができました。」



2021/11/18 ■ ピクトグラム講演会

by 福知山高校管理者

11月17日（水）放課後に、福知山市役所より西村梢さんをお招きし、ピクトグラム講演会を実施しました。西村さんは本校卒業生で、市役所に勤務されており、今夏に光秀ピクトグラムを創作し、話題となった方です。今回地域連携プログラムの活動の一環であるOB・OG特別講演会に講師としてお招きし、学生時代の話や、今の仕事で力を入れていること、悩んでいること、さらに光秀ピクトグラムの創作秘話など様々な話を親しみを持って高校生や中学生に語っていただきました。参加生徒は西村さんの福知山を思う熱い話に引きこまれながら、興味深く聴き入っていました。

今回、ピクトグラムの作成方法を伝授していただきました。20日の土曜講座で今回の講演会を受講した生徒たちが校内ピクトグラムを作成していきます。



17:48

2021/11/18 ■ 短大・専門学校ガイダンス

by 福知山高校管理者

短大・専門学校に進学を考えている1・2年生を対象に、短大・専門学校ガイダンスを実施しました。計14名の生徒が参加し、それぞれの学校の魅力・学習内容・仕事内容等についてお話を聞きました。今後、進路を考える際に生かしてほしいと思います。



11:53

2021/11/18 ■ 2年小論文ガイダンス

by 福知山高校管理者

11月11日（木）、小論文ガイダンスを行いました。2年生の今から対策をしていく必要性や、進学のみならず就職にまで繋がる力を養うことの大切さも話していただきました。1週間後には小論文模試が実施されます。このガイダンスが1年後に迫った受験に対する意識付けという意味でも意義のある時間になったことを期待しています。



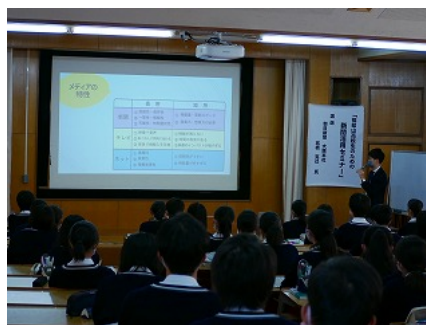
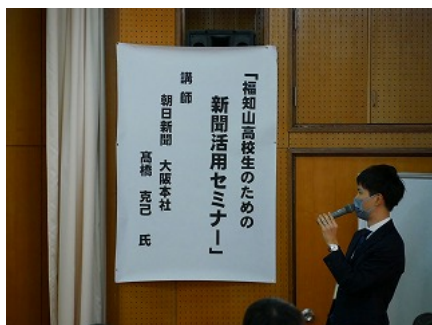
■ 2021/11/15 ■ 新聞活用セミナー

by 福知山高校管理者

10月27日(水)新聞社から講師をお招きし、1年生の新聞活用セミナーをおこないました。新聞がどのような構成になって作られているか、どのように読むかなどの初歩的な知識をはじめ、今後求められる課題解決の発想方法と新聞の関わり、実際の入試問題でどのように新聞が扱われているかなど幅広くお話いただきました。

[生徒感想より抜粋]

- ・これまで全然新聞を読んでいなかったけど、読むポイントが分かると便利だと気が付いた。家で多少ずつ読めるようになりたい。
- ・新聞は重要なニュースや世間の話題などが載っていて、情報収集のためのものだと思っていたが、読解力や発想力を養うことができると分かり、日頃から読むことは大切だと感じた。
- ・課題解決に必要な考え方を、グループワークを交えて出来てよかった。
- ・新聞を読んで読解力がつくことで、入試対策につながるだけでなく、ものの見方や考え方の幅が大きく広がることが分かった。



14:41

■ 2021/11/09 ■ 読書月間（10月21日～11月22日）～知識の展覧会へご招待～

by 福知山高校管理者

読書月間（10月21日～11月22日）～知識の展覧会へご招待～

読書月間が始まりました。読書月間中の図書委員によるイベントを紹介します。普段図書館を利用する人はもちろん、利用しない人もこの機会にぜひ立ち寄ってみてください。

☆展示

11月1日（月）～11月30日（火）に図書館中央テーブルで本の展示を行います。今回は「五感を飲む」と題して、日本の芸術を知ることができる展示を行います。

☆なぞときゲーム

11月4日（木）～11月18日（木）に図書館にて謎解きのイベントを行います。全部で3つのブースがあり、図書館や本にまつわる謎を用意しています。期間中に3ブースすべての謎を解いた人には、先着順で景品もあります。

☆チャリティ古本市

11月15日（月）～11月19日（金）の昼休みと放課後にチャリティ古本市を行います。格安で本を販売し、得たお金は全額寄付します。

☆ビブリオバトル（知的書評合戦）

12月8日（水）放課後、ビブリオバトルを開催します。ビブリオバトルとは、バトラーが本の紹介をし、どの本が読みたくなったかを決めるバトルです。勝敗はギャラリーの投票によって決まります。現在バトラーを募集中です！

☆雑誌放出

10月21日（木）昼休みから、保存期間の終了した雑誌を放出します。

13:33

■ 2021/11/09 ■ ほけんだより<11月号>

by 福知山高校管理者



13:05 | ほけんだより

■ 2021/10/30 ■ 高校3年生 人権学習

by 附属中学校

10月28日（木）、講師として仲島正教先生をお招きし、「あーよかったな あなたがいて～つながりと感動 そして笑顔～」という演題で人権教育講演会を開催しました。差別と聞くと、「自分は差別など絶対にしないから」と自分には関係ないことのように思えたり、自分自身には太刀打ちできないとても大きなものに思えたりする人もいることでしょう。しかし、仲島先生は、差別で傷ついている人がいる現状や、差別について勉強しなければ自らも差別に荷担してしまうということを危機感をもって訴えてくださいました。また、友達や家族、バスでたまたま横に座った人など、「今、あなたの隣にいる人」に声をかけ、つながりを作ることこそが、差別を減らし、世の中をよいものにするために大切なのだという、あたたかく力のこもったメッセージを届けていただきました。

（生徒感想）

今まで、差別がダメというのはわかっていても、そこまで終わっていました。でも今日の講演では、それよりも深い部分を考えることができ良かったです。私はこれまでいろんな人に“優しさ”を分けてもらってきたので、これからたくさんの人に優しさを分けてあげられるようになります。また、つらい思いをしている人に気づける人になりたいとも思いました。



10:30

■ 2021/10/28 ■ 教員養成プログラム

by 福知山高校管理者

10月25日（月）の放課後、教育実習生との交流会を行いました。高校生12名が参加し、実習生のお話を熱心に聞いていました。実習生からは、大学生活について、なぜ先生になりたいと思うのか、必要だと思う力についてなどを話していただきました。勉強はもちろん、当たり前のことがきちんとできる人であってほしい、そして何より人間関係を大切にしてほしいという実習生からのメッセージは、しっかりと高校生の胸に届いたと思います。進路のことで悩むことも多い高校生にとって、大変励みになる温かい言葉をたくさんいただきました。

（参加生徒の感想）

・今日は大学生のリアルな声が聞けたのでよかった。僕は教育学部に行くかどうかを迷っていたけれど、総合大学で勉強しながら教員免許取得を頑張っておられる方達の話の聞けたのはとても貴重だった。また、教員を目指す、目指さない関係なく、大切なメンタルの整え方、自分のやりたいことをする大切さなどを学ばせていただいた。今日話を聞かせていただいたおかげで勉強に対するモチベーションも上がったので、まずは次の模試に向けて頑張っていきたいと思った。

・自分の視野が狭いというのは本当にそうだと思います。小学校にするのか中学校にするのか、国語にするのか社会にするのか。すごく迷っていたけれど、今日のお話を聞いて「好きなものにすればいいじゃないか」と考えました。大学は自由だから、自分をしっかり律していけないといけないと思いました。私は好奇心を持ち続けることが苦手です。しかし、苦しくても楽しみを見つけることが大切だとおっしゃっていたので、投げ出したいことでもふんばって頑張りたいと思いました。



15:06

■ 2021/10/28 ■ ネパールに届ける靴を洗うボランティアの実施

| by 福知山高校管理者

10月19日（火）、生徒会を中心にネパールに届ける靴を洗うボランティアを行いました。高校1～3年生、総勢30名の生徒が参加しました。この活動は、福知山市にある「ネパール・ムスタンの子どもたちを支援する福知山の会」の呼びかけに応じて行っているものです。昨年度の先輩方が卒業時に残してくださった、まだまだ使える体育館シューズをきれいに洗った後に、ネパールの子どもたちのもとに運んでもらっています。持ち主が卒業し、次は海を越えて、新しい持ち主のもとで大切に使われることでしょう。



11:55

■ 2021/10/26 ■ 福知山わかもの会議 参加

| by 附属中学校

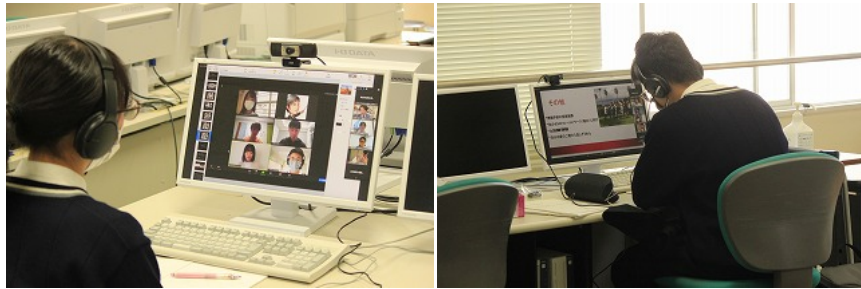
10月24日（日）に1年生の2名が『福知山わかもの会議！』に参加しました。当日は、PC教室にてオンラインで会議に参加し、福知山公立大学卒業生の上野さんのお話を聞いたり、会議に参加した高校生・大学生との意見交流に参加するなど、対話を通して、福知山で自分たちがやっ

てみたいことを考えました。

【生徒の感想】

・自分のためになるお話がたくさん聞くことができました。アイデアを発信していく「口動」、とにかく動いていく「行動」、どのように動いていくのか「考動」する3つのこうどうを知り得たのが有意義でした。

・初めての参加で何かなんだか分からず緊張したけれど楽しかったです。上野さんのお話で、人とのつながりの大切さがわかりました。人とのつながりをきっかけに色々なものにつながれると思います。私たちは「アフター大河プロジェクト」を提案したのですが、大学生の方にも興味をもってもらえたので良かったです。



17:27

■ 2021/10/15 ■ 福高 至高の名品展開催

| by 附属中学校

10月15日の福知山高校創立記念日に合わせた特別企画として、創立121周年を迎える歴史ある福知山高校のことをもっと知ってもらおうと『福高 至高の名品展』を開催しました。ジオラマの福知山高校の模型や時代毎の校舎の写真パネル、戦前からの制服など福知山高校のこれまでの歩みを感じ取れる品々を集め展示しました。また、この機会に福知山高校が所蔵している貴重な歴史的資料も合わせて展示しました。高句麗・好太王碑文の巨大拓本は古代史研究には貴重な史料とされています。福知山高校には、京都府指定文化財に指定されている文化財など、郷土資料が数多く保管されています。昼休みの短い時間の公開でしたが、興味を持った生徒や保護者の方が会場の同窓記念館を訪れました。



13:00

■ 2021/10/15 ■ 茶道体験に向けて、抹茶用の茶碗作りに挑戦しました。（芸術科）

| by 福知山高校管理者

10月11日（月）、京都教育大学教授丹下裕史先生をお招きして、高校2年生で芸術科Ⅱを選択している生徒が抹茶用の茶碗作りを行いました。11月5日（金）には、校内に簡易なガス窯を設置し、11日に成形した茶碗を焼成します。12月中旬に開催する茶道体験で、自分が作ったお茶碗を使い、お茶の点て方、いただき方を学びます。茶道体験後、自宅でも茶道を楽しめるよう、自作のお茶碗作りも行っています。



10:19

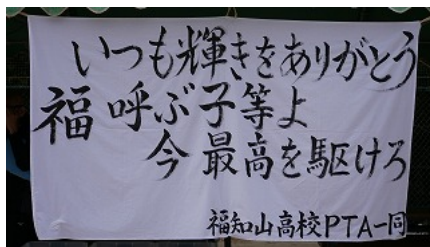
2021/10/06 2021体育祭

by 福知山高校管理者

10月6日（水）福知山高校体育祭を開催しました。
新型コロナウイルス感染対策を行いながらの実施でした。学年を超えたチームワークがとても魅力的でした。



選手宣誓



PTAからのメッセージ



高1バンブーサーフィン



高2玉入れ



高3クラス対抗リレー



団対抗綱引き





フィナーレ（黄団）



17:50

■ 2021/10/06 ■ 第7回スマートAP「聞き手に火をつけるプレゼン術」

by 附属中学校

10月2日（土）にWWLコンソーシアム構築支援事業第7回スマートAPが実施されました。福知山公立大学の杉岡秀紀准教授を講師に、プレゼンテーションについて学習しました。まず、これまでのスマートAPで設定した研究テーマについて、リサーチクエスト（研究で明らかにする問い）とそのリサーチクエストに係わる背景や現状について発表を行い、杉岡先生から御講評をいただきました。「タイトルの工夫」や「研究と自分自身との関連を示すこと」の大切さを学ぶことができました。その後、プレゼンテーションについて講義をしていただきました。実例を交えながら、「プレゼンは準備でほとんど決まる」「プレゼンの主役は聞き手」「伝えることを厳選すること」など、聞き手に伝わるプレゼンテーションを作るために必要なことを伝授していただきました。4月から国内外の大学の先生方にお世話になって実施されてきたスマートAPですが、今回で最終回となりました。スマートAPで学んだことを、11月13日（土）に行われる「WWL高校生サミット」で発揮してくれることを期待しています。[生徒の感想より]・今まで行ってきたプレゼンテーションでは、調べた内容をできる限り入れたり、文字が多すぎたりするなどの問題点があり、自分中心のプレゼンが多かったように思います。ただ、プレゼンは聞き手を中心なので、相手が聞き入り、内容がよく伝わるように、今日学んだ工夫を行っていきたいと思いました。・今回の講義での学びがたくさんあったので、身につけた知識を生かして早くプレゼンテーションがしたい！と思いました。



17:24

■ 2021/10/05 ■ ほけんだより<10月号>

by 福知山高校管理者

ほけんだより10月号を更新しました。(画像を押すとPDFが開きます)



12:46 | ほけんだより

■ 2021/10/02 ■ WWL海外インターンシップ(オンライン)@上海片岡貿易有限公司

by 福知山高校管理者

WWL事業の一環として、株式会社片岡製作所の御協力の下で行われた海外インターンシップに鳥羽高校の生徒とともに本校2年生の4名が参加しました。本来であれば実際に現地に行くところではありますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、今回はオンラインでの実施となりました。片岡製作所の中国での拠点である上海片岡貿易有限公司の方に上海や会社の紹介をしていただき、その後、グローバル企業で働くことや中国と日本の違いなどについて多くの時間を割いて質問に答えていただきました。

画面越しではありましたが、上海の街並みや上海で働く方のお話に、参加生徒は心を大きく動かされたようで、「いつかは本当に上海に行きたい」と口々に話していました。国をまたいで移動が大きく制限される中ですが、これを機にグローバルな視点を持つ意識をしっかりと高め、世界で活躍する人材へと成長するきっかけにしてほしいと思います。



■ 2021/09/23 ■ 演劇部 放課後の多目的教室にて特別公演

by 附属中学校

9月16日（木）放課後多目的教室にて、演劇部による特別公演がありました。今回は、緊急事態宣言延長を受け、京都府高等学校演劇大会両丹支部大会の舞台上演が中止になり、ビデオ審査用の撮影のための上演ということで一般公開はされませんでした。ステージ上ではなく、普段の稽古場である多目的教室にて、マスクを着用しての演技という上演スタイルとしては異例尽くめの中でしたが、演劇部5人は、迫真の演技をみせました。作品は「道の途中」。生徒たちによるオリジナル脚本です。



11:37

■ 2021/09/16 ■ 高校1年生文理科学科 2学期みらい学Ⅰ「RQを設定しよう」

by 附属中学校

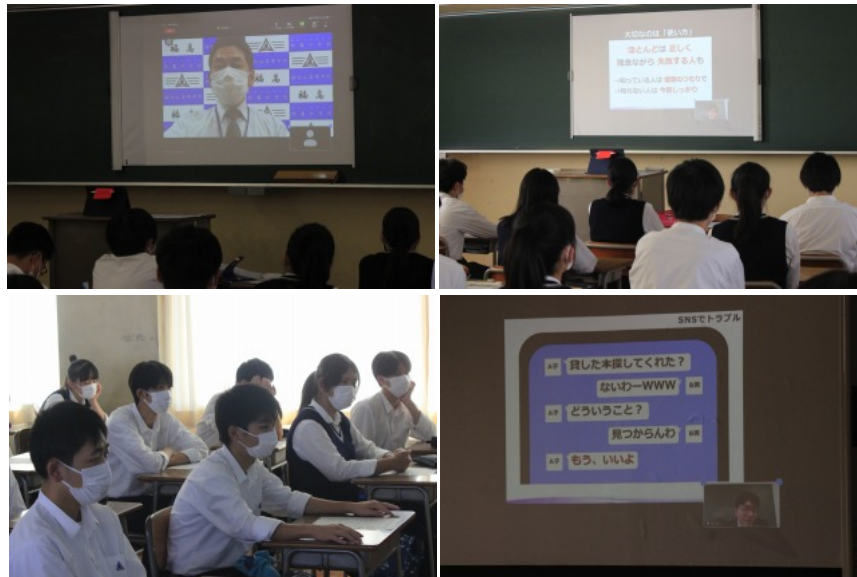
9月16日（木）4時間目のみらい学Ⅰの時間に、グループごとにリサーチエスチョンを設定しました。密を避けるため、1-5教室、1-6教室、LL教室、図書館の4会場に分けリモートでの授業としました。オンラインで各会場を繋ぎ、リサーチエスチョンの概念や問いを立てるために気を付けなければならないポイントについて学びました。その後、グループで自分の考えてきた問いを互いに交流しました。自分たちの問いは、課題の対象地域が明確であるのか、対象相手は誰なのか、また具体的な状況の設定、さらには実現の可能性など、より焦点化された問いになるようにリサーチエスチョンを磨いていきました。今後、このリサーチエスチョンを基に、仮説を立て、課題研究を進めていきます。

※リサーチエスチョン（RQ）とは、課題研究全体で明らかにしたい問いのことです。



18:56

9月16日（木）1、2時間目に、高校1年生を対象に「インターネットと人権」をテーマに人権教育講演会を行いました。感染対策のため各教室をオンラインで繋いでの実施となりました。京都府警察ネット安心アドバイザーで華頂短期大学講師の堀出雅人氏より、具体的な事例を交えてネットをめぐるトラブルについて、わかりやすく教えていただきました。違法性のあるSNS投稿が、その後どのような問題に発展していったのか、悪ふざけの範疇に収まらないネットの特性を改めて認識しました。SNSを利用している高校生も多いと思います。限定公開のような閉鎖空間であっても友達に転載される事例もありました。一度ネットにアップすると一生消えないこともあるという恐ろしさを十分に理解し、立ち止まって考えて、インターネットの被害者、加害者にならないよう適切に活用できる情報リテラシーを高めてほしいと思います。



18:50

ほけんだよりを更新しました（画像を押すとPDFが開きます。）



11:51

8月30日（月）に2学期始業式を行いました。始業式は、生徒は教室内の自席に座り、放送によって実施しました。その後、大掃除とLHR・学活を行い生徒は午前中で下校しました。コロナ感染症が地域でも拡大している中、緊張感がありながらも、久しぶりに友だちや先生と出会えてとても嬉しそうでした。

始業式では、校長先生より「コロナ感染症が拡大し、集団生活への不安はあるけれど、これまで以上に手洗いや消毒など、感染症対策を徹底させ、その中でやることに全力で取り組みましょう。また、2学期の間に自分の将来を想像し、何がしたいのかを考えてみてください。そのために学力・人間性といった力を主体的に身につけてください。困難な状況ですが、目標を見失わずに仲間と助け合って頑張ってください。」との式辞がありました。

また、教務部長からは「このような状況の中でも時間は平等に流れていくので、瞬間瞬間に最善を尽くしてほしい。そのために生活習慣を整え、計画を立て、見直しを持って学校生活を過ごすこと。さらに、自分の長所をどんどん伸ばすように努めて欲しい。また、全てが思い通りにいかないのも、臨機応変に修正する応用力を身につけて欲しい。」と生徒に2学期の指針が伝えられました。今週予定されていた福高祭は延期となり、内容の見直しも検討されています。活動は休止し、準備を進めていたことがうまく進められないものさかしさが募りますが、仲間と創り上げる時間を大切に、今できること、すべきことに全力で取り組みましょう。



08:42

■ 2021/08/25 ■ 医学進学プログラム「先輩に学ぶ会」を実施しました

by 福知山高校管理者

夏休みに医学進学プログラム「先輩に学ぶ会」を実施しました。本校卒業生を招き、どのような高校生活を過ごしたのか、志望校をどのように決めたのか、大学受験をどう乗り越えたのか、受験勉強のアドバイスなどの高校生が知りたいと思っていることを惜しげもなく話してくれました。受験を直前に控える3年生、これから進路を決定していく1・2年生にとって、それぞれ希望進路に向けた具体的な道筋を知る機会になったかと思います。



12:57

■ 2021/08/20 ■ 由良川の水生生物調査を綾部高校分析科学部と合同で行いました。

by 福知山高校管理者

中学2年生のみらい楽Ⅱの生物グループでは、由良川の在来種を守る活動をしており、由良川にいる在来種の中で近年見かけられていないオヤニラミなどの生物を調査することを計画しました。そこに福知山高校の自然科学部、さらには綾部高校分析科学部にも依頼し、8月8日(日)に感染症対策を講じながら合同で現地の調査を行いました。

夏なので捕れた魚は少なめですが、ドジョウやエビ、ザリガニ、ヤゴなどの水生生物を捕まえ、由良川に生息する在来種や外来種に出会うことができました。また、他校との合同での調査は互いにより刺激となりました。今後も現地調査を定期的に行っていきたいと思います。



09:55

■ 2021/08/05 ■ 活図書委員会×福知山市立図書館 プロジェクトL「夏と君と本」動報告

by 福知山高校管理者

今年も、図書委員が作成したPOPと本の展示を市立図書館で行っています。今年は「夏と君と本」をテーマに、夏にピッタリな本を集めました。ぜひ、見に行ってみてください。壁面の飾りつけにも注目です！

日時：7月21日（水）～8月29日（日）

図書館の開館時間 火～金 10:00～20:00

土・日・祝日 10:00～18:00

会場：福知山市立図書館中央館 2階ティーンズコーナー



16:46

■ 2021/07/30 ■ 土曜講座（第2回）を実施しました。

by 福知山高校管理者

7月10日と17日に第2回土曜講座を実施しました。

綾部資料館フィールドワーク、鉛筆デッサン講座、英語ディベート講座、東大数学演習講座など、今回もバリエーションに富んだ内容の講座を開講し、それぞれに学ぶことの楽しさを実感することができました。

今回は、9月18日（土）に予定しています。生徒のみなさんは、引き続き積極的に参加し、主体的で深い学びを体感しましょう。

～生徒の感想～

＜綾部フィールドワーク＞

☆綾部資料館では、学芸員の方から土器や古墳などの展示品についての説明を受け、綾部の地形や歴史について分かりやすく教えてもらった。また学芸員の仕事そのものについてもいろいろ知ることができて良かったです。

☆グンゼ資料館では、グンゼの歴史や現在の産業が地域の発展にも繋がったことがよく分かりました。また、絹糸がどうやってできるのかについても知ることができました。解散後に、私市円山古墳や綾部陣屋跡なども自分で訪れることができました。

＜はじめての英語ディベート講座＞

☆人の意見を聞いてその場で意見を否定したり、実例を交えて自分の意見を主張したりするのは、日本語でも難しくて自分がこれから成長していかなければならない点を発見することができた。また、異なる学年が一緒になって取り組むのは新鮮で楽しかった。

☆英語で相手の主張を聞き取り、内容を理解し、その上で反論を考えるのが難しかったです。でも、実践的な英語に触れる機会は楽しかったし、良い経験になりました。また挑戦してみたいです。

＜デッサン講座＞

☆まず動画でデッサンの基本について学び、そのあと先生の指導を受けながら実際にデッサンを行った。知らなかったことばかりでとても楽しかった！今回の講座でデッサンに対する抵抗感がなくなって、すごく意欲が湧いたし、いろいろなものを描いてみたいと思った。

☆テープと箱をモチーフにデッサンに取り組み、描いた後で先生に講評してもらった。他の人の絵と比べて、自分の絵に足りない物が見つかった気がする。デッサンは楽しかった。

＜東大数学＞

☆東大の入試問題を5問解く中で、数学的な考え方とはどういうものなのかを感じ取ることができました。今回学んだことを生かして、日々数学の学習に精進していきたいと思いました。次は京大・阪大の数学も待っています！

☆予習の段階では全然解くことができませんでしたが、先生に解説していただいて全ての問題を理解することができたとともに、これまで習ったことで全て解けることが分かり悔しくも感じました。夏休みにしっかりと復習して、同じような問題は解けるようにになりたいと思います。





15:15

2021/07/27 WWLスマートAP（第3回）

by 福知山高校管理者

6月5日（土）の午後に、WWLスマートAP（第3回）に参加しました。

京都府教育委員会の事業として実施されているWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）の府立高校共通履修科目である「スマートAP」第3回に、登録している2年生が参加しました。

今回は、京都大学教授の神吉紀世子先生に、昨年度先生のゼミを卒業され社会人となられた方とのパネルディスカッション形式で、研究の進め方についてオンライン講義をしていただきました。昨年度行っておられた研究を振り返りながら、卒業論文に向けてどのようにテーマを設定したり、研究を進めたりしたかについて、当時の御苦労や振り返りも含め、具体的な経験について話していただき、生徒にとっても研究をどのようにすすめていけばよいのか、その流れがよく分かる講義でした。

後半は、生徒がグループで考えているテーマについてお二人に紹介し、貴重な御意見や提案をいただきました。生徒達は先生方のアドバイスに熱心に聴き入り、自分たちの研究テーマの方向性について再考することができました。

<生徒の振り返り（一部）>

研究を行う上で、質的研究がとても大切だということを学びました。これまでの講義からもそうですが、テーマや方向性にこだわらないと、その次の実験や調査がうまく進まないのだと感じ、時間をかけてじっくりとテーマを決定したいと思いました。

私たちのグループは、やりたいことや方向性がまだまとまっていなかったので、あと1ヶ月かけてじっくり考えていけたらと思います。神吉先生は、私たちならつい一面的に見てしまいがちな物事を様々な観点から考えていらっしゃったのがとても印象的でした。そうした柔軟な物の見方について感覚的ではありますがなんとなく分かった気がします。

神吉先生と卒業生の方のお話を聴いていると、大学での教授と学生との関係性が素敵だな、と感じました。私も数年後大学生になったら、何かしら研究をするだろうし、その際に教授の先生からアドバイスをもらったり関心のあることとことん付き合ってもらったりできるような環境で学べるといいな、と思いました。



08:01

3年生普通科では、理系生物の授業で「発生」を取り扱っています。授業中に受精卵から成体へと、形態形成が進む様子を観察してきました。その延長として、7/16（金）の放課後にニワトリの解剖実習を希望者のみで行いました。

最初は抵抗もありましたが、この実習により消化腺や心臓、腎臓など、丁寧に観察することができました。特に小腸の長さにはみんな驚きで、資料集に書かれている長さを実感することができました。また、最後は眼の水晶体も取り出すことに成功し、とても透明で文字が大きく見えることも確認できました。

実習の最初と最後には生命の尊厳を確認し、材料となったニワトリに黙祷をしました。



07:57

学校安全だよりを更新しました。（画像をクリックするとPDFが開きます。）



08:21

ほけんだよりを更新しました。（画像をクリックするとPDFが開きます。）



08:19

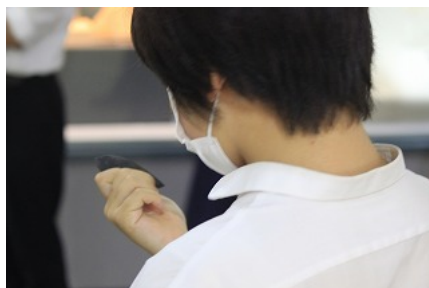
2021年7月10日（土） 地域連携プロジェクト フィールドワークin綾部～綾部市資料館～グンゼ記念館めぐり～

7月10日（土）に、今年度2回目の土曜講座を実施し、地歴公民科では綾部市内でのフィールドワークの講座を開講しました。今年度地歴公民科では、地域連携プロジェクトを立ち上げ、本校生徒が積極的に地域社会とかかわりを持てるよう積極的に取組を推進しています。前回は、琵琶湖博物館の学芸員の方から考古学について学びました。今回は地元の綾部市の歴史について現地に赴いて学びました。

中丹文化会館敷地内にある綾部市資料館に集合し、資料館館長をはじめ、学芸員の方の案内のもと、綾部市の地形の特徴や、旧石器時代から近世までの歴史を丁寧に解説していただきました。古文書を読み解いたり、展示品の石包丁や弥生土器を特別に触らせてもらったり、実物に触れる貴重な機会となりました。参加生徒の中には、「造られた古墳をどのような特徴から時期を区分したらよいのか」など、みらい学での研究テーマに関する質問をしていました。

その後、グンゼ記念館まで徒歩で移動し、グンゼ資料館やグンゼスクエアを見学しました。なぜ社名をグンゼ（郡是）というのか、やグンゼがこの地域で果たしてきた役割など紹介スライドや展示物を使って教えていただきました。資料館自体が貴重な歴史的建造物ですので、資料館をめぐるだけで、近代の日本にタイムスリップした気持ちになりました。グンゼスクエアでは、現在のグンゼの製品の展示を見たり、バラ園のひろがる開放感のある広場でゆっくりと過ごしたりしました。

今後も地域連携プロジェクトでは、校内での学習活動にとどまらず、地域に出て、学びの幅を広げ、知的好奇心を高めていきたいと思っています。多くの生徒の参加を期待しています。



12:18

2021/07/15 ■ 地域連携プロジェクト 福知山市広報担当者から広報・PRの極意を学ぶ

  | by 福知山高校管理者

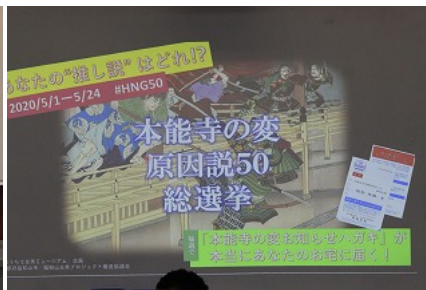
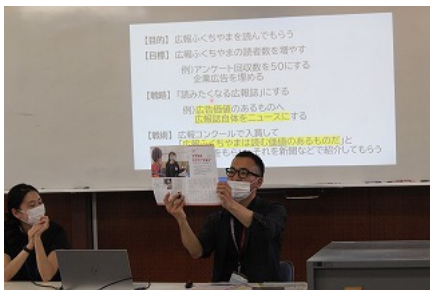
6月23日（水）の放課後に、福知山市秘書広報課より宇都宮萌さんと吉良恭蔵さんをお招きし、特別講義をしていただきました。今年、福知山市の広報紙が全国広報コンクールで広報写真一枚写真部において「特選・総務大臣賞（全国1位）」を受賞し、また、福知山市が2020年5月～8月に行った「本能寺の変プロジェクト」が「PR アワードグランプリ」、「地域プロモーション大賞」、「CAMPFIRE クラウドファンディングアワード」の3つのアワードを受賞しました。広報・PRによる価値の生み出し方について、実績のあるお二人をお招きし、中・高生にその極意を伝授していただきました。また、広報の話だけでなく、人生の先輩として中高生に向けたアドバイスもいただき、参加者はそれぞれに学ぶべき点が多くあった講義となりました。さらに、地域連携プロジェクトで進めていこうとしている企画についても貴重な意見をいただくことができました。

【生徒の感想】

・人に物事を発信しようと思った時、伝えようとするのではなく伝える方法を考える事が大切だと思いました。媒体に限られる時もそうでない時もあるけれど場合に応じて受け取り手がどういう情報を求めているのかにフォーカスを当てて情報発信して行きたいです。

・今まで知らなかった、市役所の広報のお仕事について聞かせていただいて、自分の将来の選択肢が増えたと思います。また、吉良さん流の戦略のお話がとても勉強になり、少し精神的に軽くなりました。市役所の広報やシティプロモーションが少数で行われていることに驚いたし、それを聞いて日本一になったり全国的に話題になったりしたのがよりすごく感じられました。今の生き方にも今後の人生にも活かせるお話を聞かせていただき、頑張ろうと思えました。





12:13

2021/07/14 夏休みの図書館について

by 福知山高校管理者

夏休みの図書館について

開館日と開館時間

7/21 (水) ～ 7/30 (金)

8/17 (火) ～ 8/25 (水)

8:30～16:50

土・日は閉館です。

※開館日や開館時間は行事等により変更することがあります。変更の際は、図書館入口の掲示板で連絡します。

夏休み特別貸出について

7月6日(火)以降に借りた本の返却は、9月15日(水)まででOKです！

※貸出冊数の制限はありません。

14:14

2021/07/09 文理科学科1年生 みらい学 “研究テーマを決めよう”

by 福知山高校管理者

7月8日(木) 4時間目のみらい学が1学期最後の総合的な探究の時間となりました。今回は、「SDGs×地域課題研究」を進めるにあたり、グループに分かれてどのようなテーマで研究を行うのかKJ法を使って課題やアイデアを出し合いました。

1学期のみらい学では、文理科学科の内部進学生と外部進学生が共に課題研究とはどのような学びなのか、先行研究の調べ方、たくさんの書籍や論文をどのように読み進めていくのか、クラウドを使用したファイル共有の方法などこれから課題解決型学習を進めていく中での基本事項を丁寧に学習してきました。2学期より各グループが、それぞれ研究テーマを設定し、いよいよ本格的に研究活動を行っていきます。



18:42

将来学校の先生になりたいという生徒32名が惇明小学校と雀部小学校を訪問しました。授業を見学したり、実際に授業の中に入ってプリントの丸つけをしたりするなどして、小学校の先生の仕事を体験しました。先輩の先生方からは、小学校教員のやりがいや高校生の今やっておくべきことなどについてお話ししていただきました。参加生徒は、「これからますますICT教育が発達していく中で、自分たちが先生になった時に様々なことに対応していけるような力を身につけていきたい。」「小学校の先生の大変さを知る一方で、それを上回る喜びややりがいがあるということもわかった。」と感想を述べていました。それぞれに自分の将来を思い描く時間となり、先生になりたいという気持ちをさらに強くすることができました。



惇明小学校



雀部小学校

14:51



京都府立福知山高等学校

〒620-0857 京都府福知山市土師650
Tel. 0773-27-2151
Fax. 0773-27-2826
Mail. fukuchiyama-hs@kyoto-be.ne.jp